

新春書き初め大会

学校教育目標

- 自ら学び、考え、実践する生徒（知）
- 心豊かで、自他を尊び、思いやりのある生徒（徳）
- 健康で、根気強く、たくましい生徒（体）



満面の笑みを見せる出来映え

1月6日14:00～本校体育館に於いて、津嘉山佳子さんを講師にお招きし、“新春書き初め大会”を開催しました。硬筆と毛筆の違いでしょうか普段見られない達筆な



字を書く生徒が多数見られました。また、書は心を落ち着かせて、集中力を発揮すると言われるように、筆を持つ生徒たちの真剣な眼差しが、新年の新たな年、新たな気持ちに向かっている様子でした。本地区で書道教室を営んでいる津嘉山さんは、コロナ禍にあって、久しぶりに本校へ足を運んでくださいました。船中生が年々人数増になっていることもあり、短時間でのアドバイスは物足りないようでしたが、生徒たちにとっては、貴重な時間となりました。以下、各々の書の出来映えをご覧ください。この中から「琉球新報主催の書き初め展」に10点の作品をコンクールに応募しています。応募の結果は後日お知らせいたします。

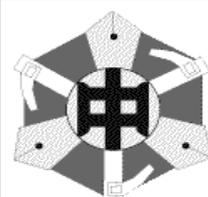
沃野

発行

1月第26号

船浦中学校

校長 宮城裕子



☆本校学校評価へのご協力ありがとうございました。下記に保護者様よりR3後期学校評価に寄せられた保護者ご意見等に関する回答を記載しております。今後とも忌憚のないご意見等お寄せください。

○船浦中学校の生徒はあいさつが気持ちよくてすばらしいと思います。先生方や生徒さん、皆個性的で我が子は学校生活の中で良い刺激を受け成長できています。いつもお世話になりありがとうございます。これからも大変な取組だと思えますがひとりひとりの生徒の心の声を聞きながら個性を伸ばす教育を宜しく願います。○いつもありがとうございます。○コロナもあるので、あまり学校に入る機会もありますが、行ったときの子ども達は明るく楽しそうに見えます。

●子供の送迎について、2ヶ所以外は進入禁止の車両止めを設置し徹底した方が良い。

A; 子供の送迎で駐車場を利用しない場合、一般車両の迷惑になることがあるので、指定された場所以外での送迎を控えるようご協力をお願いします。

●基本的にこの「学校評価」というものによって良くなっていくのか疑問に思っています。たしかに改善点が客観的にわかるので参考になるかもしれませんが、そこに目を向けすぎて「きゅうくつ」にならないかと思っています。評価項目の内容も少し古いのではないかと感じました。

A; 毎回学校評価の内容項目の見直しを行っていますが、保護者様には分かりにくい点多いかもかもしれません。各項目の数値評価にかかわらず、項目の内容等について親子で学校の様子を話し合う機会として欲しいと思います。

●学校からのお知らせがとても丁寧。しかし、描写が細かすぎて逆に分かりづらいときがあるのでもう少し内容がまとまっている方が受取やすいです。

A; 読み手へ伝わりやすい表現を心がけます。また、保護者への連絡事項はメール等での配信も行いますが、併せて、紙媒体でのお知らせを持たせますので、生徒はしっかり届けるようお願いします。

●授業中に会話(おしゃべり)があると聞きました。集中した授業時間をつくって欲しいです。

A; 学習規律を守るよう指導するとともに、“自律した子供が育つ”学校になるよう教職員一同努めて参ります。

●任期が3年なので、行事の申し送りが保護者や地域協力者だのみになっている感がある。3大行事存続のためにもせめて、常時1人は4年目の先生がいる赴任サイクルにならないものか。

A; 行政の管理の下、人事異動が行われています。

●炭焼きの永田さんもあらゆる自然観察行事の森本さんもご高齢になりつつあるのだから、後継人間問題を真剣に保護者交えて話し合うべきかと思う。

A; 喫緊の課題としてあげられますが、学校と保護者及び地域の方のご協力を得ながら、学校文化の継承に努めて参ります。また、ご推薦があれば話し合いの場を持ちたいと思います。

●質問番号7・8・18ですが、学校生活は楽しそうですが学習の件(宿題やガンバリノート等)になりますと真剣に取り組んでいる様子があまり見られないように感じています。読書はやたら好きなようで図書室よりよく借りてきてますが、親としては「学校の課題をやってから読書をしなさい」と毎回言っておりますけど、なかなか難しく本人には伝わらないよう思っています。

A; 本校では「島立ち」の教育として、自立と自律をめざした教育活動を行っています。これからも根気強く、子供たちには、何が目的か、なぜ行うか、何をなすべきかの働きかけを行っていきたいと思います。

●今後、地域の身近な問題(ゴミや、生活で困っていることなど)学年でなく、縦割りグループで、立案、計画調整、実行、しては、どうでしょうか?必要あれば、行政にも連絡をしてみるなど、社会のしくみ、見る目が養われると思います。

A; 今後の教育活動に生かせるようご意見を拝聴させていただきます。ありがとうございます。

●部活など船の特別乗船券等の引継がなかったり、地域の事、ずっとやってきた事などはしっかりと引継をして欲しい。

A; 引き継ぎをしっかりと行っていきたく思います。ご意向に沿えない場合があるかと存じますが丁寧に対応していきたく思います。ご指摘ありがとうございます。

●制服について、船中のスカートのはひだは多く、すぐしわになりだらしがない。白いうすいりボンもよれよれしている。今年は女子も選べたのをきっかけにブレザーに変更してはどうか。女子はセーラーは寒い。ブレザーだと男女着用可能。船中伝統のセーラーと言っていたが卒業生に聞くと伝統ではなく、皆、おさがりがセーラーが多かったからその理由でした。今、石垣にセーラーを注文しても雑な仕上がりの制服が届く事があります。船中が使用しているセーラーがないからです。ブレザーにして男女きみせず着用、防寒対策もできる。リボンやネクタイもしっかりした物で統一すれば全体にもっと身だしなみもキレイになり、西表一番の身だしなみのよい学校になって欲しい。

A; 制服の変更に関しては、次年度以降、生徒会との話し合いまたは必要性等に応じて対応して参ります。